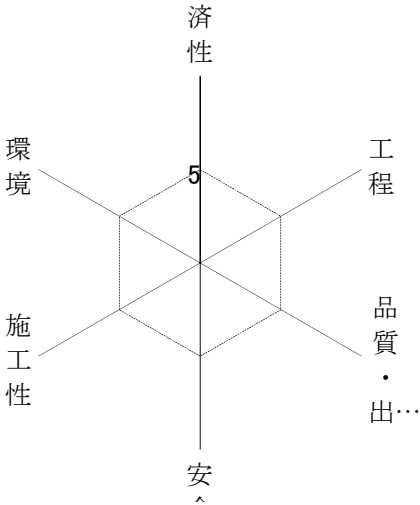


活用調査表①

様式- 1

工事番号									
本庁事業課名		課		班		県登録番号			
事務所名						技術名			
事業名						開発会社名			
担当課（支所）名						従来技術			
施工箇所						施工会社名			
工事概要						新技術の特徴			
現場担当者名						最終契約額		千円	
施工数量		従来技術				新工法			
事後評価		評価点		新技術の評価				今後の課題	
①	経済性			従来の技術と比較して、どうなのかを記入する。				今後どういう点を改善していったらよいのかを記入する。	
②	工 程			〃				〃	
③	品 質			〃				〃	
④	安全性			〃				〃	
⑤	施工性			〃				〃	
⑥	環 境			〃				〃	
総合評価点		0							
				問題点					
				感想					

※評価点は従来技術と同程度を5点とした場合の点数とする。

評価点数表

様式-2

新技術名		従来技術名			
調査項目	経済性	単位あたりの関係するコスト(施工費、維持管理費等)と従来技術を使った場合の概算コストを比較する。			
		コスト (<input type="text"/> 当り)	従来技術 <input type="text"/> 円	新技術 <input type="text"/> 円	コスト差 <input type="text"/> 円
		評価点 (小数点以下は四捨五入)			
		$= \frac{\text{基準点} \times (1 + \frac{\text{コスト差}}{\text{従来技術コストの50\%}})}{5 \times (1 + \frac{0}{0})} = \text{\#DIV/0! (点)}$			
	工程	従来技術と新技術の対応する施工サイクルについて、施工単位あたりの実施施工日数と従来技術の概算の施工日数を比較する。			
		施工日数 (<input type="text"/> 当り)	従来技術 <input type="text"/> 日	新技術 <input type="text"/> 日	短縮日数 <input type="text"/> 日
		評価点 (小数点以下は四捨五入)			
		$= \frac{\text{基準点} \times (1 + \frac{\text{短縮日数}}{\text{従来技術の施工日数の50\%}})}{5 \times (1 + \frac{0.00}{0.00})} = \text{\#DIV/0! (点)}$			
	品質・出来形	調査内容			
		・品質は向上するか	+1	<input type="radio"/> 0	-1
・出来形・精度は向上するか		+1	<input type="radio"/> 0	-1	
・耐久性は向上するか		+1	<input type="radio"/> 0	-1	
・品質・出来形の管理項目は減少するか		+1	<input type="radio"/> 0	-1	
安全性	調査内容				
	・品質・出来形の管理頻度は減少するか	+1	<input type="radio"/> 0	-1	
	・墜落・転落事故の危険性が減少するか	+1	<input type="radio"/> 0	-1	
	・重機災害の危険性が減少するか	+1	<input type="radio"/> 0	-1	
	・飛来・落下物災害の危険性が減少するか	+1	<input type="radio"/> 0	-1	
施工性	調査内容				
	・作業環境が向上するか(暗がり、騒音、狭所作業の減少)	+1	<input type="radio"/> 0	-1	
	・危険物等の取り扱いが減少するか	+1	<input type="radio"/> 0	-1	
	・現場での施工が減少するか	+1	<input type="radio"/> 0	-1	
	・仮設工が減少するか	+1	<input type="radio"/> 0	-1	
環境	調査内容				
	・作業員の負担が減少するか	+1	<input type="radio"/> 0	-1	
	・熟練度に依存した作業が減少するか	+1	<input type="radio"/> 0	-1	
	・施工の機械化の程度は向上するか	+1	<input type="radio"/> 0	-1	
	・周辺の大気汚染・土壌汚染・水質汚染が減少するか	+1	<input type="radio"/> 0	-1	
環境	調査内容				
	・騒音・振動・粉塵・交通規制等が減少するか	+1	<input type="radio"/> 0	-1	
	・産業廃棄物の発生量は減少するか	+1	<input type="radio"/> 0	-1	
	・周辺の自然・生態環境・景観との調和は向上するか	+1	<input type="radio"/> 0	-1	
	・省エネルギー・省資源化が向上するか	+1	<input type="radio"/> 0	-1	
評価点 $= \frac{\text{基準点} \times (1 + \frac{\text{合計点}}{\text{調査内容数}})}{5 \times (1 + \frac{0}{5})} = 5 \text{ (点)}$					

※記入要領

①「経済性」「工程」は従来技術との比較を単位あたりの数量で行う。

②その他の調査内容に対する評価は3段階とし該当する番号に○印をつける。

従来技術に比べ優れている (+1)

〃 同等程度である (0)

〃 劣っている (-1)

③減点要素とも、加点要素とも判断のつかない場合は、0に○印をつけて合計点を算出する。

④入力値は 箇所のみとする。

活用調査表②

様式-3

工事番号			
本庁事業課名	課	班	県登録番号
事務所名	事務所	技術名	
事業名		現場担当者名	
担当課（支所）名			
特記仕様書 への記入事項			

出来形管理基準及び規格値			
運用した出来形管理基準 及び規格値			
測定項目	規格値	測定基準	測定箇所
測定項目、規格値 に対する評価			
品質管理基準及び規格値			
運用した品質管理基準 及び規格値			
試験項目	試験方法	規格値	試験基準
測定項目、規格値 に対する評価			

施工概要図①

工事番号

様式-4

平面図

- ・ 工事全体を表示する
- ・ 新技術・新工法施工内容を記入のこと

断面図

施工概要図②

工事番号

様式-5

本技術が把握できる図

作業状況写真

工事番号	
------	--

施工方法がわかるもの
・カラーコピー可

施工方法がわかるもの
・カラーコピー可

施工機械がわかるもの
・カラーコピー可

工事全体がわかるもの
・カラーコピー可

追跡調査表

様式-7

				中間／最終	1. 中間	2. 最終
記入者		施工後年数	年	中間報告回数	回目	
実施事務所						
施工数量						
担当事業課名						
活用後調査結果						
調査項目	新技術・新工法の調査結果			今後の方針		
経済性						
品質						
その他						